



梅檀 4月号



令和8年4月8日 西条市立吉岡小学校

吉岡小学校HP



「いきいき わくわく 吉岡っ子」の育成

お互いを認め合う

吉岡小学校の令和8年度がスタートしました。24名の1年生を迎え、全校児童126名、教職員総勢19名で「いきいき わくわく 吉岡っ子」の育成を推進していきます。

始業式では、子どもたちに次のような話をしましたので、ここに紹介します。

皆さん、進級おめでとうございます！新しい学年、新しい教室、そして新しい教科書。

皆さんの瞳がキラキラと輝いているのを見て、先生も背筋が伸びる思いです。今日からまた、この吉岡小学校の新しい1ページが始まります。」

今年度も、「よく考え」、「失敗を恐れず」、「お互いを認め合い」、「感謝する」吉岡（よしおか）を目指しましょう。なかでも今日は、この「お:お互いを認め合い」について、大切なお話をします。

それは、皆さんが着ている「標準服」のことです。今、吉岡小学校ではスカートでもズボンでも、自分で好きな方を選んで着ることができます。まだ、2つしか種類がないのですが…。これまでは、決まったものを着るのが当たり前だと思っていたかもしれませんが、でも、これからは自分で選ぶことができます。

人にはそれぞれ、「これが自分らしいな」「これが一番落ち着いて勉強できるな」と感じるスタイルがあります。「寒いから、動きやすいから、そして、心にぴったりくるから、スカートを、ズボンを、選ぶ。」理由はそれぞれで、どれも正解です。

大切なのは、「どうして?」と理由を探ることではありません。その人が、その人らしく、笑顔で学校に来られること。それをみんなで「いいね」と認め合えること。これこそが、本当の意味での「お互いを認め合う」ということです。誰かが自分らしくあろうとすることを、からかったり、変な目で見たりすることは、吉岡小学校のみんななら絶対にしないと信じています。

自分を大切にすると同じように、お友達が大切にしている気持ちを、温かく見守り、応援できる。そんな吉岡小学校を、皆さんと一緒に作っていきたい。校長先生はそう願っています。そして、2種類しかない標準服はこのままで良いのか、もっと良くていいのではないのか、これから皆さんと一緒に考えていって、誰もが安心して過ごせる吉岡小学校を作っていきましょう。

R8年3月24日卒業証書授与式を終えて

文責：校長 武田 志津

